VGP2020ヘッドホン大賞を獲得

オーディオテクニカが誇る才色兼備の〝ウッド〟

本物のギターと同じ、美しい木目を持つフレイムメイプルをハウジングに纏ったポータブルヘッドホン「ATH-WP900」。オーディオテクニカ伝統の「木のヘッドホン」に新機軸をもたらした本機の魅力を審査員7名が語る。

VGP審査員 **海上 忍** *Shinobu Unakami*

透徹かつ俊敏なサウンド

ハウジングにメイプル材を奢ったポータブルヘッドホン。音楽ファンならお馴染みのギターメーカー・フジゲンが塗装まで一貫して手掛けるなど、こだわり抜いた設計は垂涎もの。大口径53mmドライバーには高域特性に優れるDLCコーティング振動板を採用したほか、バッフルは内側に向けて微妙な傾斜をつけるなど、音響面での作り込みも秀逸だ。奏でる音は透徹かつ俊敏、耳のまわりを包み込む遮音性の高いイヤーパッドの効果もあって、S/Nもいい。ヘッドホン大賞を獲得したことも頷ける。

VGP審査員 **野村ケンジ** *Kenji Nomura*

音楽家も惚れ込む躍動感

音質と使い勝手の両立が巧みなポータブルヘッドホンの中でも、最高峰と呼べるモデルがこちら。実際、知り合いのミュージシャンがすでに何人もこのヘッドホンを所有していたりする。ハウジング部に弦楽器やギターなどで使われているフレイムメイプル柄を採用し、音楽好きの心をグッとくすぐってくれる。また、ポータブルながらアラウンドイヤーパッドを採用していて、長時間使用でも疲れにくい。音質面では、ダイレクト感の高い、ストレートで躍動感に満ちた表現を持ち合わせている。多くの人が満足できる良質な製品だ。

VGP審査員 **山本 敦** *Atsushi Yamamoto*

リアルなギターの音色

まさにオーディオテクニカ入魂のポータブルヘッドホンだ。エレキギターのボディや指板に使われることも多いメイプル材をハウジングにあしらい、さらに天面に薄くスライスした煌めくような杢目のフレイムメイプルを貼り合わせている。その美しいたたずまいとサウンドは「ヘッドホン」というよりむしろ「高級楽器」のようだ。大口径53mmドライバーが、クリアな中高域と粘り気のある低域を鳴らし切る。4.4mm5極バランスケーブルが同梱されているのもいい。どんな種類の音楽にもマッチするが、やはりギターの音色のリアリティにおいては右に出るものがいない。

VGP審査員 **鴻池賢三** *Kenzo Konoike*

芸術鑑賞の域に達する響き

音が出た瞬間に「美音」と感じ、さらに音楽を聴きたくなる奥深さを感じる類稀なるヘッドホンだ。美しい光沢と深みのある木目は眺めているだけでも美しく、音楽に向き合う気持ちも高揚させてくれる。繊細なタッチで凛々と音を描き、木の温もりと美しい響きはまさに芸術鑑賞の領域。本格派ながら、フラットに折りたためるなど、コンパクトで装着性と携帯性に優れ、いつでもどこでも高品位でラグジュアリーなサウンドが楽しめる、値段以上のパフォーマンスに大満足できる逸品だ。

VGP審査員 **岩井 喬** *Takashi Iwai*

ポータブルの域を超える音

世界的なギターメーカー、フジゲンの協力のもと開発された"フレイムメイプル"のウッドハウジングを用いたファッショナブルな1台。スリムな見た目ながら大型のヘッドホンと同じ53mmの大口径ドライバーを取り入れ、緻密かつ高解像度で鳴りっぷりのよい、ポータブルの枠を超えたサウンドも魅力的だ。重厚長大なイメージがある高級ウッドモデルの概念を打ち破るスマートさ、楽器の仕上げを彷彿とさせるスタイリッシュさも兼ね備えた、まさに旬といえる今季を代表するヘッドホンである。

VGP審査員 **折原一也** *Kazuya Orihara*

メイプルだからこその完成度

オーディオテクニカの高級ヘッドホンに常に名を連ねる"木のヘッドホン"。硬度の高い広葉樹メイプルの無垢削り出し材に、薄くスライスした"フレイムメイプル"材を貼り合わせたハウジングは、音質面でもデザイン面でも、ここにしかない価値を生んでいる。DLCコーティングを施した振動板を持つ大口径ドライバーと、木の硬さがもたらす音の立ち上がりとクリアネスは、これまでにない解像度志向の"木のヘッドホン"として、新しい音の方向性を感じさせる。モノとしての完成度も素晴らしい水準にある。

木のヘッドホンの新機軸 明るく弾けるような音色

オーディオテクニカ「木のヘッドホン」シリーズにポータブルスタイルの新モデルが登場した。ハウジング材には、明るく弾けるような音色と美しい杢目で弦楽器の素材として愛されている、メイプル材を採用。メイプル無垢材から削り出したハウジングの表面に、揺らめく炎のような杢目のフレイムメイプル材を貼り合わせ、良質なメイプルならではの音色と貴重なフレイムメイプルならではの美しさを兼ね備えるものとして設計されている。そのハウジングの加工を担当するのは日本を代表するギター製造メーカー、フジゲン。そこに高域特性に優れるDLCコーティング振動板採用のドライバー、中低域特性を向上させる新形状バッフルなど、オーディオテクニカならではの技術とノウハウが組み込まれている。

実際に聴いてみると、楽器材としてのメイプルのイメージ「明るく弾ける音色」に驚くほど重なるサウンドだ。バンドサウンドを聴いても、エレクトロサウンドを聴いても、バスドラムの低音からギターやシンバルの高音まですべての音がスパンと心地よく抜けて、その場にもたつくことがない。空間に音が混雑することもなくスペースに余裕が生まれ、主役のボーカルを中心に全体の見晴らしも明るくすっきりしている。

ルックスもサウンドも、メイプル、そしてフレイムメイプルならではの上品な華やかさを備えた、ヘッドホン大賞にふさわしい逸品だ。

VGP審査員
高橋 敦
Atsushi Takahashi

密閉型ヘッドホン
AUDIO-TECHNICA
ATH-WP900

¥OPEN（実勢価格¥80,000前後）

VGP life style 2020 ヘッドホン大賞

VGP life style 2020 金賞※1

SPEC ●型式：密閉ダイナミック型 ●ドライバー口径：53mm ●再生周波数帯域：5～50,000Hz ●インピーダンス：38Ω ●ケーブルの長さ：1.2m ●質量：約243g ●付属品：ヘッドホンケーブル1.2m（ステレオミニプラグ）、バランスケーブル1.2m（4.4mm5極プラグ）、キャリングポーチ

LINEUP

"革新"と"伝統"2つのプレミアムモデル

オーディオテクニカが20年以上に渡ってラインアップし続けている、ウッドハウジングを纏った「木のヘッドホン」。2019年はアサダ桜を採用した「ATH-AWAS」、黒檀を採用した「ATH-AWKT」の2モデルが新たに追加された。前者はDLCコーティング振動板など最先端の音響技術を盛り込むことで高解像度サウンドを狙った"革新"を担うヘッドホン、後者は従来モデル「ATH-W5000」のドライバーを活用しながら低域表現などを向上すべく設計面で細かな変更を加えた"伝統"をテーマにしたヘッドホンとなっており、それぞれに異なるサウンドキャラクターを持つ。

密閉型ヘッドホン
ATH-AWAS
¥OPEN（実勢価格¥150,000前後）

VGP life style 2020 金賞※2

密閉型ヘッドホン
ATH-AWKT
¥OPEN（実勢価格¥200,000前後）

VGP life style 2020 金賞※3

※1 密閉型オーバーヘッド型ヘッドホン（7.5万円以上10万円未満）部門
※2 密閉型オーバーヘッド型ヘッドホン（10万円以上15万円未満）部門
※3 密閉型オーバーヘッド型ヘッドホン（15万円以上20万円未満）部門

お問い合わせ：オーディオテクニカ ☎0120-773-417 https://www.audio-technica.co.jp